

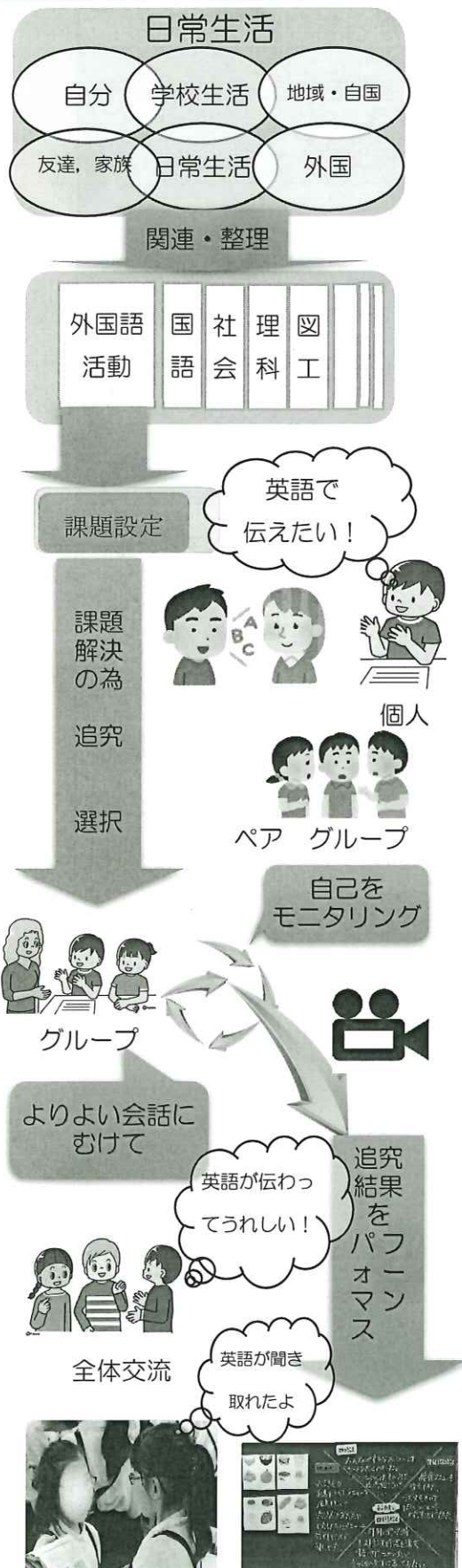


子供が学びをつくる 外国語活動

課題設定	<p>外国語活動の目指す「自らの学びをメタ認知」しながら学び続ける子供 子供たちが具体的場面において、自分の思いや考えをもち、既習の外国語の語句・表現を用いて意欲的にコミュニケーションを行おうとする。</p> <p>(1) 単元のゴールイメージを意識し、子供たちは設定した場面と学習を結びつけながら会話しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールイメージを意識し、目的意識をもちながら主体的に学習にむかおうとする。 ・ゴールイメージを意識した絵や動画等を見ながら、場面を想起し自分の考えや行動をイメージしようとする。 ・英語を使って場面にあった自分の思いや考えを伝えることや、相手の思いを知ることにより意欲をもって取り組もうとする。 <p>(2) 子供たちが具体的場面において、自分の思いや考えを伝えるための語句・表現を思い出し、新たに学習する語句・表現を知ろうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習で学んだ既習事項や新たな英語表現を使って、授業の中でうまれてくる課題にどう対応するかを考えようとする。 ・場面設定にあつ自分の考えや思いを英語で表現することができるよう、ワークシート等にまとめる。
課題追究	<p>場面にあった会話をするためにペア、4人でのグループ学習を通してよりよい会話を追究しようとする。全体交流を進んで行い、仲間と協力して追究しようとする。</p> <p>(1) 学習した語句・表現に慣れ親しむことができるよう、ペア、グループによる会話を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでゲーム等を通して語句・表現に慣れ親しもうとする。 <p>(2) グループによるICTを活用した会話練習を行い、場面にあったよりよい会話にむけて追究しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを用いてグループごとに会話の様子を録画し、自分や友達の会話を見合うことで、場面にあったよりよい会話にむかおうとする。 ・コミュニケーション場面で会話のよさや困り感などを全体共有し、さらにポイントをしばって会話をしようとする。 <p>(3) いろいろな子供たちと会話したり、進んで全体交流したりしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面にあった自分の考えを進んで伝えようとし、友達の思いや考えに関心をもって会話をする。
パフォーマンス	<p>自分の考えをペアやグループで表現し、全体交流で発表できる。自分の考えを進んで伝えようとし、友達の考えを聞こうとする。友達の考えを聞いて、表現の良さに気づき、自分の会話に生かそうとする。</p> <p>(1) 自分のことや身の回りの事柄について、自分の考えや思いをもちながら会話を行い、ペア、グループ、全体の場面で進んで発表しようとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ろうとする。 ② 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 ③ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的表現を用いて話せるようにする。 ④ 既習の語句・表現をつかって進んで話したり、友達の考えを聞いたりしようとする。 <p>(2) 簡単な語句や基本的な表現を用いた友達の考えを聞いて、表現の良さに気づき、自分の会話に生かそうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア、グループの場面をiPadで会話の様子を録画し、自分の会話や、友達の会話を振り返り、よりよいものにしようとする。 ・授業の振り返りの中で、よりよい会話についてのポイントを確認し共有化する。

外国語活動
・外国語

～自己を見つめ、学びの主体者となる子供～



目指す姿を実現する支援例

【単元のゴールイメージを明確にし、子供が学習の見通しをもてるように支援する。】

- 単元のゴールイメージを明確にし、日常生活と教科の学習を結びつける。日常と教科が結びつくカリキュラム・マネジメントの視点に立った単元構成をすることで、子供の目的意識とモチベーションを醸成できるよう促す。

【子供が自分の考えをもち、発表につなげられるよう支援する】

- 自分の考えをもつことができるよう、ワークシートに自分の考えをまとめたり、ペア、グループで考えをまとめたりする時間を設ける。

【様々な学習スタイルが定着できるよう、単元学習の流れを計画する】

- ペア学習、グループ学習、全体交流などを単元学習の中に計画し、子供たちが様々な学習スタイルを経験できるよう取り組ませる。特に、グループ学習、全体交流では、自分の考えを伝えながら、友だちの考えのよさやについて気づいていけるよう促す。

【追究の中で困り感をもったことを全体で共有し、よりよい会話にむかうよう促す】

- 追究の中で困り感をもったことを全体共有し、別の表現や語句を学んだり、伝え方を考えたりしてよりよい会話にむかうようにする。

【自力追究結果を子供が表現できるよう支援する】

- ペアやグループ、全体交流の学習に取り組む。全体交流の機会を多く持ち、よい交流の仕方をしている児童を取り上げ、会話のポイントを全体で伝える。友だちのよい点を自分の会話に取り入れながら学習する姿を価値づけていく。
- iPad等のICTを活用して表現すべきなのか、表現方法について吟味するよう促す。

【できるようになったことや、次の学習につなげたいことが焦点化できるよう、学習の振り返りを活用する】

- 自分の学習を振り返り、どのようなことができるようになったか、次の学習に生かしたいことなどを明確にし、学びが高まっていることを実感できるようにする。
- 友達との学習の様子から学んだことを振り返り、互いの思いを共有したり、成長を実感したりできるように活用を促す。

外国語活動担当：安彦 有里恵